

令和6年度使用小学校教科用図書
に関する調査報告書

教科名 算 数

(様式1)

教科用図書調査に関する報告書

教科	算数
----	----

発行者 略称	発行者 番号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
東書	2	算数 112 113 212 213 312 313 412 413 512 513 612	新編 あたらしい さんすう 1① はじめよう！さんすう	<ul style="list-style-type: none"> ・1年の「はじめよう！さんすう」は、A4サイズで、キャラクターや数図ブロックが、立体的で写真風に掲載されている。 ・「マイノートをつくろう」「マイノートを学習に生かそう」等のページがあり、ノートの使い方がわかりやすく紹介されている。 ・「それなら」の吹きだしや「それなら次は」のページが設定され、数学的な見方・考え方を働かせながら数学的活動が主体的に行える。 ・各単元の最後の練習問題に、思考力を問う問題（算数の目）が設定されている。 ・「説明しましょう。」の問いが多く、思考力が育つ。 ・SDGsやプログラミングの単元名が学年を超えても同じでわかりやすい。 ・巻末に児童用の位取り表や図や表が付属しており、教材準備の負担が軽減される。 ・練習問題は、二次元コードからオンラインでも解答可能で、正誤判定やつまずきの確認ができる。 ・登場するキャラクターの「つぶやき」として多くの記載があり、これを活用することで、論理的思考力を身に付けさせるのに有効である。 ・動画やシミュレーション等の児童用デジタルコンテンツが豊富で使いやすい。 ・1年用以外は、ほとんどのページに二次元コードがついている。また、ページ番号が紙面上部に記載されている。 ・式やグラフなどの特徴やそれぞれのよさについての問いが設けられ、それらを実感できる工夫がなされている。 ・随所で既習内容や中学校への繋がりを意識できる。 ・「私と算数」では、著名人の算数への思いが紹介されており、算数に興味をもてるように工夫されている。
			新編 あたらしい さんすう 1② みつけよう！さんすう	
			新編 新しい算数 2上 2下 考えるって おもしろい！	
			新編 新しい算数 3上 3下 考えたことが つながるね！	
			新編 新しい算数 4上 4下 考えたことが つながるね！	
			新編 新しい算数 5上 5下 考えたことが つながるね！	
			新編 新しい算数 6 数学へジャンプ！	

発行者 略 称	発行者 番 号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
大日本	4	算数 114 115 214 314 414 514 614	新版 たのしいさんすう 1ねん① 1ねん② 新版 たのしい算数2年 3年 4年 5年 6年	<ul style="list-style-type: none"> ・「たのしいさんすう1ねん①」は、A4サイズで、コントラストがはっきりした見やすい挿絵で、取り掛かりやすい内容となっている。 ・丈夫な紙質で、各ページに書きこんだり消したりがしやすい。 ・巻頭の「算数の学び方」の図で、学習の流れや取り組む内容が明確に示され、各単元のページにも同じ言葉でステップが示されているため、主体的な学びにつなげやすい。 ・プログラミングに関する内容が、全学年を通して計画的に示され、コンピュータを使用しないアンプラグドのプログラミング的思考についても学ぶページが設定されている。 ・登場人物が国際的で、多様性の尊重を意識させることができる。 ・UDフォントを使用して文字の大きさ、太さが工夫されていて見やすい。一方で、余白が少ないページもある。 ・学習内容（数、計算、図形、整理のしかた、変わり方）ごとにページのテーマカラーが決められ、児童が学びを意識しやすい。また、色合いも工夫されている。 ・単元の導入で、生活に即した話題を取り上げ、数学的思考を生活と結び付けさせる工夫がされている。 ・数学的活動の補助となる、実際に動かせる切り取れる教材（図形等）が巻末に充実している。 ・発展的な内容が豊富に掲載されている。 ・2年以上の教科書は、各学年で1冊にまとめてあるため、1年間の見通しがつけやすい。一方で、分厚くて重い。 ・二次元コードの位置がページ番号横に統一されていて、また、コンテンツの内容も横に付記されているため、使いやすい。

発行者 略 称	発行者 番 号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
学 図	1 1	算数 116 117 216 217 316 317 416 417 516 517 616 617	みんなとまなぶ しょうがっこう さんすう 1ねん上 1ねん下 みんなと学ぶ 小学校 算数 2年上 2年下 3年上 3年下 4年上 4年下 5年上 5年下 6年 6年 中学校へのかけ橋	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B版サイズで紙面の横幅が広く、教科書への書き込みや紙面上での作業がしやすい。一方で、机上にノートやタブレットが一緒にある場合は、置きにくい。 ・ UDフォントを使用していることに加えて、文節改行や行間サイズ等、読みやすくする工夫がされている。 ・ 3色のストローの写真の横に「青、黄、赤」と書いてあったり、並べて表示する棒グラフの塗りつぶしを、片方は斜線にしたり等、ユニバーサルデザインにも配慮している。 ・ 数学的な考え方が「考え方モンスター」としてキャラクター化されており数学的な思考に親しみやすく、系統性を意識したり、活用したりしやすい。 ・ SDG sに関連する「算数をつかって」のページが充実している。また、防災や伝統文化、国際理解等、多様な課題に関する内容も取り上げている。 ・ 単元は、漫画で「？」を提示して導入とし、「！」へとつながる流れで構成されているため、見通しがもちやすい。 ・ 「おはなしをつくりましょう」や「伝え合いましょう」など、対話的に学習を進める場面が設定されている。 ・ 単元ごとに振り返りのページが充実している。 ・ 巻末の付録が少なく、操作しにくそうなものもある。 ・ 6年の別冊「中学校へのかけ橋」で、中学校への進学に向けて、振り返りや発展的内容が学習できる。

発行者 略称	発行者 番号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
教出	17	算数 118 218 219 318 319 418 419 518 618	しょうがくさんすう 1 小学算数 2上・2下 3上・3下 4上・4下 5 6	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「? (はてな)」→「! (なるほど)」→「!? (だったら)」という学習の流れが示されており、見通しがもちやすい。 ・UDフォントが使用されていて、字の大きさ、行間のバランスがよく、1ページごとに見やすい。 ・識別しやすい色を使ったり、色名を付記したりする等、ユニバーサルデザインにも取り組んでいる。 ・紙が薄く、1冊にまとめられているため、5年と6年の教科書でも軽い。また、薄いけど丈夫な紙質で、紙面に書き込んだり消したりしやすい。 ・「学びの手引き」のページがわかりやすく、基礎基本をしっかり定着できるよう工夫されている。 ・定義やまとめが書いてある部分は、背景に色がつけてあるため見やすい。 ・ページの下の部分にある「さんすう広場」「よくあるまちがい」「もっとやってみよう」等は、学習の流れの中で児童が気付いたり振り返ったりするために有効である。 ・巻末の付録が少なく、授業では活用しづらい。 ・練習問題が多く、児童が個別の学びに取り組みやすい。 ・登場人物やキャラクターの言葉が学習の流れをリードするように記載されており、吹きだしを追っていくことで個別の学びに活用しやすい。 ・プログラミングの単元名が、学年を超えても同じでわかりやすい。 ・「学んだことを使おう」に、学習したことを生活の場面で実践するような問題が多く設定され、算数を身近に感じることができる。 ・5年の「割合」では、「もとにする量→基準量」「もう一方の量(比べられる量)→比かく量」という言葉を使用している。

発行者 略称	発行者 番号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
啓林館	61	算数 120 121 220 221 320 321 420 421 520 620	わくわくさんすう 1 すたあとぶっく わくわくさんすう 1 わくわく算数 2上・2下 算数 3上・3下 算数 4上・4下 算数 5 算数 6	<ul style="list-style-type: none"> ・1年用の「わくわくさんすう1 すたあとぶっく」は、A4サイズで、二次元コードからデジタルコンテンツを活用しながら学習を進めることができる。 ・巻頭の「算数のとびら」に、「学習の進め方」「ノートづくり方」「考えの進め方」が分かりやすく示してある。 ・デジタルコンテンツが豊富で、二次元コードに見出しがあるため使いやすい。 ・登場人物が多様性に富んでいる。 ・1～3年では「買えますか？ 買えませんか？」、4～6年では「見積もりを使って」というコーナーが設けてあり、「生きる力」として、系統的に「見積もる力・判断する力」の育成を図ることができる。 ・SDGsやプログラミングが、どの学年でも同じ単元名でわかりやすい。 ・「わくわくプログラミング」では、すぐに使えるコンテンツが準備されており、使いやすい。 ・各時間の「めあて」や「まとめ」が明確に示されていて、見通しをもって学習を進めやすい。 ・各単元の振り返りの後に「学びをいかそう」のコーナーが設置され、興味関心に応じて個別の学びが広げられる。 ・準備問題や練習問題が豊富に用意されている。 ・巻末の付録は豊富で、授業で使いやすいように工夫されている。 ・登場人物のつぶやきが「…」で終わるため、論理的な思考を深める使い方ができる。 ・デジタルコンテンツとして準備されている「スマートレクチャー」は、各単元の学習を教科書に沿って分かりやすくまとめてある。また、他学年の内容についても見ることができると、様々な活用法が考えられる。

発行者 略 称	発行者 番 号	教科書の 記号・番号	教科書名	調査結果の概要
日 文	1 1 6	算数 122 123 222 223 322 323 422 423 522 622	しょうがくさんすう 1① 1② 小学算数 2上・2下 3上・3下 4上・4下 5 6	<ul style="list-style-type: none"> ・1年用「しょうがくさんすう 1①」は、B5サイズで、絵本調の挿絵によって児童が自然に算数を学習できるように工夫されている。また、二次元コードからデジタルコンテンツも活用できる。 ・UDフォントを採用している。 ・文節変換やルビ振り等、教科書を一人で学習を進める際の読み易さを工夫している。 ・「どんな問題かな」→「考えよう」→「学び合おう」→「ふり返ろう」という学び方の4ステップが示され、学習の見通しが立てやすい。 ・随所に記載された「算数で使いたい見方・考え方」が、巻末にまとめられており、個別学習など様々な学習場面で活用できる。 ・「めあて」と「まとめ」が明記されているので、学習の流れをイメージしやすい。 ・デジタルコンテンツが豊富に準備されている。また、二次元コードに外出しがあるため使いやすい。 ・自分で取り組むことができる「算数マイトライ」は、基礎、応用、発展と分けられており、個別の学びとして活用しやすい。 ・「算数マイトライ」や6年の「マテマランド」は、クイズやパズル等の要素が取り入れられており、楽しみながら学習を進めることができる。 ・プログラミング学習の単元名がどの学年でも同じでわかりやすい。 ・図形や、図、グラフなどの線が太くはっきりしており、見やすい。 ・発展学習が多く取り扱われている。

(様式2)

教科用図書調査に関する報告書

算数

観点別評価

「◎」 優れている

「○」 標準的

「△」 やや劣る

選定の観点	選定の視点	東書	大日本	学図	教出	啓林館	日文
学習指導要領との関連	1 学習指導要領に示されている算数科の目標達成に結び付く内容になっているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	2 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫がされているか。	◎	◎	○	○	○	◎
	3 「知識及び技能」の習得と「思考力・判断力・表現力等」の育成をバランスよく図るための工夫がされているか。	○	○	○	○	◎	◎
	4 言語活動の定着を図るための配慮がなされているか。	◎	○	◎	◎	◎	◎
	5 学習への興味・関心を高めるとともに、学びを深めるために、ICT機器や二次元コードから参照できるデジタルコンテンツを適切に活用することができる配慮がなされているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	6 SDGs など、今日的課題が取り上げられ、児童が興味・関心を持ち、主体的に学ぶとともに発展的な学習も行うことができる工夫がされているか。	○	○	◎	○	◎	○
内容	1 数学的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付き、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育む工夫がなされているか。	◎	◎	○	◎	◎	○
	2 4領域の指導の関連を図ることができる内容になっているか。	○	○	○	○	○	○
	3 およその大きさや形をとらえ、それらに基づいて適切に判断したり、能率的な処理の仕方を考え出したりすることができる工夫がなされているか。	○	○	○	○	◎	○
	4 言葉、数、式、図、表、グラフなどを用いて考えたり、説明したり、伝え合ったりする学習活動ができる内容となっているか。	◎	○	◎	◎	◎	◎
	5 自ら課題を見だし、解決するための構想を立て、実践し、その結果を評価・改善することができる工夫がなされているか。	◎	○	○	○	○	◎
	6 論理的思考力を身につける工夫がなされているか。	◎	○	◎	○	◎	◎
構成・分量	1 内容の量と学習時間が適切に配当されているか。	◎	○	○	○	◎	◎
	2 児童の発達段階に即し、系統的、発展的に構成されているか。	○	◎	◎	○	◎	○
表記・表現	1 表記や表現について、文書や挿絵、写真等の使用が適切であるか。	○	○	○	○	◎	◎
	2 文字の大きさ、字間、行間などは適切であるか。	◎	○	◎	◎	◎	◎
	3 ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、色の使用、紙面の構成などについて、配慮されているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎